

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
国語応用	選択	3	3	普通科

科目の概要	(1) 現代文の評論分野の読解および表現活動を通じて、文章の内容を論理的に理解して適切に要約することや、全体との関わりで部分を細かく読み取る力や表現する力を養う。 (2) 現代文の小説分野を読解し、文学の面白さを味わうとともに、多くの人間の様々な心理や心情、ものの考え方や感じ方に触れ、自分や社会を見つめ直す契機とする。 (3) 古典作品の詳細な読み取りを通して、現代語訳できる力を養うとともに、歴史的な背景をふまえて先人のものの見方や感じ方や考え方を理解し、思考力を高める。			
教材名	教科書	なし		
	副教材	文系 現代文 長文記述問題集 三訂版 (いいずな書店) 力をつける古典 ステップ2. 5 新訂版 (数研出版) 理系 2026共通テスト対策 [実力養成] 重要問題演習 (ベネッセ)		
担当者	(文系) 堀康之、佐々木誠司、熊谷正志 (理系) 若林直人			
学習到達目標	・近代以降の文章のテーマ、主張、構成を的確に理解できる力を養い、合わせて記述力の向上を図る。 ・古典としての古文、漢文を読む能力を高め、あわせて語句の意味、文法、句形を理解するとともに記述力の向上を図る。			
学習方法	・授業前に各ジャンルに応じた小テストを実施する。 ・理系は、大問ごとに進めていく。 ・文系は、現代文、古文、漢文の順に進めていく。 ・現代文の様々な分野の文章を読み、主題・要旨・展開を正確に理解し、それを言い換えたり、理由や根拠を説明して表現する。 ・古文や漢文の様々な分野の文章を読み、正確な口語訳・書き下し文ができ、主題・要旨・展開・人物関係に対する十分な理解し、状況等を整理して表現する。			
評価基準と評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	考査課題 など	考査授業中の活動課題 など	授業中の活動 考査に向けての取り組み 提出物 など
	A	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の伝統的な古典文学や明治以降の文章に対する理解を深めることができる。	現代文古典ともに、論理的かつ創造的に考えることができ、他者との関わりの中で伝え合う力を高めることができる。	言葉の担い手としての自覚を高め、言葉を通して社会と関わろうとする。
	B	上記Aの項目について、概ねできている。	上記Aの項目について、概ねできている。	上記Aの項目について、概ねできている。
	C	上記Aの項目について努力を要する。	上記Aの項目について努力を要する。	上記Aの項目について努力を要する。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4 月	ガイダンス		1	
6 月	現代文・小説・古文・漢文各分野について、2 年次までの学習内容を踏まえ、応用力を養うための問題演習に取り組む。	現代文の評論分野の読解および表現活動を通じて、文章の内容を論理的に理解し、適切に要約することや、全体との関わりで部分を細かく読み取る力を養う。 現代文の小説分野を読解し、文学の面白さを味わうとともに、多くの人間の様々な心理や心情、ものの考え方や感じ方に触れ、自分や社会を見つめ直す契機とする。 古典作品の詳細な読み取りを通して、現代語訳できる力を養うとともに、歴史的な背景をふまえて先人のものの見方や感じ方や考え方を理解し、思考力を高める。	19	現代文時に漢字力定着と強化のために小テストを実施する。 古文時に古文単語力定着と強化のために小テストを実施する。 漢文時に句形・用字力定着と強化のために小テストを実施する。
6 月	前期中間考査		1	
9 月	現代文・小説・古文・漢文各分野について、2 年次までの学習内容を踏まえ、応用力を養うための問題演習に取り組む。	現代文の評論分野の読解および表現活動を通じて、文章の内容を論理的に理解し、適切に要約することや、全体との関わりで部分を細かく読み取る力を養う。 現代文の小説分野を読解し、文学の面白さを味わうとともに、多くの人間の様々な心理や心情、ものの考え方や感じ方に触れ、自分や社会を見つめ直す契機とする。 古典作品の詳細な読み取りを通して、現代語訳できる力を養うとともに、歴史的な背景をふまえて先人のものの見方や感じ方や考え方を理解し、思考力を高める。	24	
	前期期末考査		1	
9 月	現代文・小説・古文・漢文各分野について、3 年次前半までの学習内容を踏まえ、応用力を養うための問題演習に取り組む。	現代文の評論分野の読解および表現活動を通じて、文章の内容を論理的に理解し、適切に要約することや、全体との関わりで部分を細かく読み取る力を養う。 現代文の小説分野を読解し、文学の面白さを味わうとともに、多くの人間の様々な心理や心情、ものの考え方や感じ方に触れ、自分や社会を見つめ直す契機とする。 古典作品の詳細な読み取りを通して、現代語訳できる力を養うとともに、歴史的な背景をふまえて先人のものの見方や感じ方や考え方を理解し、思考力を高める。	31	
12 月	(後期期末考査)		1	
12 月	現代文・小説・古文・漢文各分野について、3 年間の学習内容を踏まえ、応用力を養うための問題演習に取り組む。	1 1 月からは尚文出版の教材を用いて、共通テスト追試験やプレテストに取り組む。	12	計 90